

京都対象関係論

セミナー



2020年度

現代の論者による ウィニコット

ウィニコットはどのように読まれているのか？

現代の独立派論者の紹介するウィニコット理論の議論を通して、新しい潮流を辿ります。

概要

- 対象 : 精神分析または精神分析的実践に携わっている臨床家
(日本精神分析学会に入会していること、大学院に在籍していないこと)
- 内容 : 論文抄読 + 事例検討
- 日時 : 原則第2日曜日 13:00-17:00
- 場所 : キャンパスプラザ京都・京都教育大学他
- 会費 : 10回 30,000円
- 主催 : 工藤晋平 (名古屋大学)
- アドバイザー : 北山修 (日本精神分析協会訓練分析家)

4/12	シメントン	ウィニコット 『分析の経験』	
	北山	一次過程と二次過程の間で 『錯覚と脱錯覚』	5/10
6/14	Alvarez	The clinician's debt to Winnicott. Journal of Child Psychotherapy.	
	オグデン	ドナルド・ウィニコットの業績における母親、乳児、マトリックス 『こころのマトリックス』	7/12
9/13	Green	The intuition of the negative in Playing and Reality. "The Dead Mother"	
	ケースメント	無意識の希望 『さらに患者から学ぶ』	10/11
11/15*	Parsons	The logic of play in psychoanalysis. The International Journal of Psycho-analysis.	
	ジョンソン	対象と関係することから対象使用へ 『精神分析的な心理療法の現在』	12/13
1/10	ボラス	依存へのありふれた退行 『対象の影』	
	Reeves	Unintegrated states and the processes of integration. "The Winnicott Tradition"	2/14

お申し込み

必要事項をご記入の上、下記のメールアドレス宛にお申し込みください。受け付けを行い、お手続きについてご連絡します。また、セミナーでは事例提供者の募集もしています。事例を提供できる方はメールにその旨をご記入ください。

なお、申し込み人数が多い場合には事例提供可能な方を優先したうえで先着順とさせていただきます。

送信先 : sec@ksort.jp

タイトル : 参加申し込み

内容 : ①お名前、②ご所属、③職種（医師、臨床心理士など）、④ご住所、⑤事例提供希望

締切 : 2020年3月31日（火）